

登録番号 第 23984 号

フレピオン®L 液剤

- 高い殺草効果と長い抑草期間が期待できます。
- 特長： ●多年生雑草の再生を強く抑制します。
- 多年生雑草のススキ、チガヤ、ササ、クズ等に効果があります。

フレピオンは三井化学クロップ&ライフソリューション(株)の登録商標です。

有効成分	グリホサートナトリウム塩（化管法第1種）・・・11.3% テトラピオン（化管法第1種）・・・16.7%	包装	10L×1
その他化管法該当成分	2-アミノエタノール（化管法1種）・・・1.7%		
性状	淡黄色澄明水溶性液体	有効年限	4年
毒性	普通物*	危険物	—

※普通物：「毒物及び劇物取締法」（厚生労働省）に基づく、特定毒物、毒物、劇物の指定を受けない物質を示す。

【適用病害及び使用方法】

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	薬量	希釈水量	本剤の使用回数	使用方法	グリホサートを含む農薬の総使用回数	テトラピオンを含む農薬の総使用回数
樹木等	公園、庭園、堤とう、駐車場、道路、運動場、宅地、のり面、鉄道等	多年生雑草（スギナを除く）	雑草生育期	1.5～3.5 L/10a	100 L/10a	2回以内	植栽地を除く樹木等の周辺地に雑草茎葉散布	3回以内	2回以内

使用上の注意事項

- 使用量に合わせて薬液を調製し、使いきること。
- 泥などで濁った水は効果を低下させるので本剤の調製には用いないこと。
- 展着剤の加用の必要はない。
- 本剤は散布時の雑草の草丈や茎葉面積が大きい程、効果が確実となるので、雑草の草丈が50～100cmの時に散布し、散布前に雑草の地上部を刈り払わないこと。
- 本剤は通常2～14日で効果が発現し、効果完成までさらに日数を要するので、誤って再散布しないこと。
- 処理後6時間以内の降雨は効果を低下させることがあるので、天候を良く見極めてから散布すること。
- 散布薬液の飛散、あるいは本剤の流出によって有用植物に薬害が生じることのないよう十分に注意して散布すること。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にかからないようにすること。
- 水源池、養殖池等に本剤が飛散、流入しないよう十分に注意して使用すること。
- 散布器具、容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。また、空容器、空袋等は環境に影響を与えないよう適切に処理すること。
- 散布液の調製に際しては合成樹脂の内層のない鋼鉄製（ステンレスを除く）の容器類は使用しないこと。なお散布液を調製した容器及び散布器具は、使用后十分に水洗いすること。
- 土壌が流亡したり、くずれたりするおそれのある所では使用しないこと。
- 本剤の散布に当たっては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意すると共に、初めて使用するときは、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

人畜に有毒な農薬については、その旨及び解毒方法-----

- (1) 本剤は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないよう注意すること。眼に入った場合には直ちに水洗すること。
- (2) 散布の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用すること。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをすること。
- (3) 公園、堤とう等で使用する場合は、散布中及び散布後（少なくとも散布当日）に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜に被害を及ぼさないよう注意を払うこと。
- (4) 使用残りの薬剤は必ず安全な場所に保管すること。

水産動植物に有毒な農薬については、その旨-----

この登録に係る使用方法では該当がない。

引火し、爆発し、又は皮膚を害する等の危険のある農薬については、その旨-----

通常の使用方法ではその該当がない。

貯蔵上の注意事項-----

直射日光をさけ、なるべく低温な場所に密栓して保管すること。